

桐野夏生さん 学生と語る

武庫女大 題材や取材、丁寧な

直木賞受賞一柔らかな顔などで知られる作家・桐野夏生さんと学生とのトークセッション「作家と語るが武庫川女子大西宮市池開町で開かれ、約800人が耳を傾けた。

学生と本を結びつけるかきを作ろうと、武庫川女子大付属図書館が主催。学生へのアンケート結果をもとに、支持の高い作家をゲストに迎え、学生と対談するイベントで、今回で4回目になる。対談は17日。学生や卒業生ら6人が参加

ら、一日の過でし方などについて、丁寧に考

えや経験を伝えた。対談を聞いていた3年の内平菜摘さん(20)は『リアルワールド』を読んでみたくなった。桐野さんは自分の本を客観的に捉えているように感じた」と話した。

【山本未来】



作家・桐野夏生さん(右から2番目)に作品を中心に残った一文を伝える学生ら。西宮市池開町の武庫川女子大で

野さんは「当時、高校生だった娘を観察した。自分が高校生の時の悩みも投影している。時代は変わっても悩みは普遍的で、若いほど深い」と答えた。

題材の決め方や、肌で感じることを大切にすることが重要という取材か